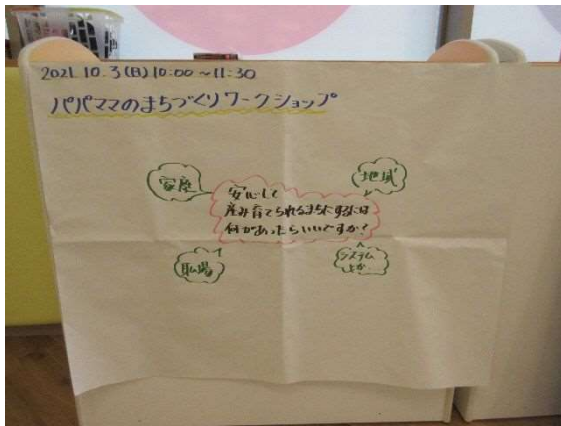


子育て応援ひろば

2021.10.3（日）10:00～

参加者 4名 保育 4名 見守り 1名



## 参加理由

- 地元が県外。親を頼れない。これからもずっと新潟に住んでいく中で、意見反映がされるかどうかはわからないが伝えることはしていきたい。
- 育休中にいろいろ参加したい
- 男の子3人の母。子どもたちに素晴らしい新潟を残してあげたいと思っている。小さなことでも何か大きな成果になるかもしれない。できることをして行きたい。

## 地域

- 東京で1年間子育てをして新潟に来た。なんて子育てしやすい街なのか…！ローサ内は全天候型で安心安全。歩行訓練にはピッタリ。アーケードもある。傘いらず。ベビーカーで普通に歩いて買い物に行ける。水族館も近い。しいて言うなら公園が狭いが、ちょっと手を加えれば、ここは稀にみる子育てしやすい街。東京でもこんなところはない。
- ママ友との話の中で『どこで遊んでいますか？』という話になる。男の子3人だから走り回りたい。ほどほどに人がなくて身体を動かせる場所が古町にはない。車を使わないといけない。走れる登れる飛べる。そして怒られない場所。
- 近くに公園があるが黄色いテープで囲まれていて遊べない。整備されていない。家の前を散歩していたら『うるさい』と怒られた。大声を出していたわけではない。

外が気詰まりだ。子どもを育てやすい雰囲気になるといい。

- 怒鳴られる、注意されるは子育ての『あるある』  
地域が子どもに対して優しくない。温かい目で見てほしい。
- 同世代の子がどこにいるのか知りたい。閉鎖的でなく寛容な世の中であつたらいい。
- 田舎は、子どもを連れて帰ると近所中から人が集まってくる。みんなで見守るという感じ。

『ちょっと見る関係を地域の中でつくるにはどうするか。

きっかけづくりをどうするか』

- 子どもに声かけてくれる人は多い。子どもを知ってもらい、関心を持ってもらう。こちらから言わなきゃ周りも気づかないしわからないのだろう。近くの人に赤ちゃんを抱っこしてもらったりしているが、そういったことでも子どもを知ってもらいきっかけになれば。
- 『近所のおばちゃんが見てくれてママがゆっくりできるようなシステム』

## 職 場

- 夫が家にいると安心できる。毎週土日でなくとも、時々一日中いてくれる時があれば。夫の育休は取得が難しかった。
- 教員（母）は環境的に育休が取りやすい。今後の仕事にも生かせると思っているが。戻った時の不安は大きい。
- 教員は、妻が取ったら夫は取れないという話もある。
- 夫の育休って妻に何かメンタルの不安がないと取れない雰囲気もある。

## システム

- 子どもが寝てくれないので、いつも睡眠不足。母親がゆっくり眠れる施設がないだろうか。3~4時間くらい寝かせてくれる場所。
- あっても数千円かかる。
- 預かり保育は1歳から、それ以前に預けたい時はいっぱいあった。人数制限や今日預けたいのに…に対応できない。使い勝手が悪い。
- 妊活をした。金額は高く、市の助成があつてやれた。子どもが欲しい親はいっぱいいると思う。回数や年齢など制限なくできればいい。
- 人工授精か体外受精かでも、補助に違うものがある
- ベビー講座に参加したかったが、一人目の時は情報入手が遅れがち、でも参加できてよかった。引っ越してきたばかりで寂しい時だったから。二人目は抽選で受けられなかった。まだまだ知りたいことがいっぱいあるからオンラインでもやってほしい。

- パパ講座に参加したい。
- 二人を産むとき預けたかったが、預け先がなかった。産院に検診に行くときも、コロナ禍で連れていけなかった。預かり保育の予約も取れず、コロナ禍に対して臨機応変にシステムの変更があったら良かったが。



### 最後の一人一言

- とにかく子どもが大きくなった時、いいところに産まれたと言われたい。そのためにこれからも頑張りたい。
- ありがとうございました。来年子どもが小学生になる。今日、先生の子育て事情を知ったが、子どもに関わる仕事の方は、子どもを知ってほしい。そこをお願いしたい。
- お父さんお母さんの目線がわかるようになってきた。大きな力になる。自分の子育てと仕事の両立をしながら、新潟市の制度にも目を向けて仕事をしていきたい。

